

## スメナ子どもセンター、オケアン青少年センターでの省エネ講座の実施

### 【事業概要】

省エネルギーセンターは、2019年10月22日と23日の2日間にわたり、ロシア、クラスノダール地方(Krasnodar Krai)に位置するスメナ全ロシア国立青少年センター(The Smena All-Russian National Children's Center)と、2019年11月25日から27日の3日間にわたり、ロシア、プリモルスキー地方(Primorsky Krai)に位置するオケアン全ロシア国立青少年センター(The Okean All-Russian National Children's Center)に、それぞれ2人の専門家を派遣しました。それぞれの場所で、専門家は中学生から高校生を対象に省エネルギーに関する講義を行いました。



スメナでの研修風景



オケアンでの研修風景



スメナにて生徒との対話



オケアンにて生徒との対話

2016年12月の日露首脳会談で、両国の人的交流の拡大に向けた方策の一つとして、昨年2018年に「ロシアにおける日本年」及び「日本におけるロシア年」を開催することが決まり、ロシアに4ヶ所ある全ロシア青少年センターのうち3箇所に訪問しました。

今年度も引き続き、ロシア連邦エネルギー省ならびに教育科学省から依頼を受け、全ロシア青少年センターのうち2箇所で、ロシアの青少年向けに日本文化等を紹介しながら省エネルギー講座を行うことになり、ECGJがその実施を担当することになりました。

青少年センターでは、様々なプログラムが用意されております。学習の場であるとともに、青少年のリーダーシップ、創造的、身体的可能性を開発することを目的とした施設です。

担当した講座では、約2時間の時間の中で、クイズや実験を通じてエネルギーの大切さや省エネルギーの意義について説明を行いました。エネルギー変換と効率的な利用について、ヒートポンプやLED等、家電製品を例に挙げながら、なるべくわかりやすく説明するように心掛けました。

生徒からは、熱心に実験に参加するとともに、将来のエネルギーの方向性と省エネルギーについて質問が寄せられました。

この活動を通じて、日本とロシア両国の省エネルギーを通じた交流が進展しました。